

VI 豊かな心と文化を育む

まちづくり

- 1 生涯学習の推進
- 2 学校教育の推進
- 3 文化・芸術活動の振興
- 4 生涯スポーツの振興
- 5 青少年の健全育成

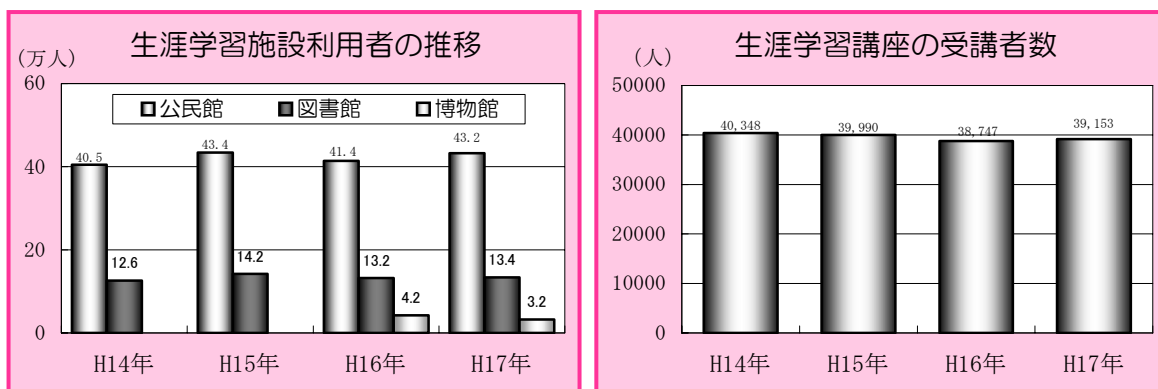
まちづくり次世代ワークショップの研究報告風景

1 生涯学習の推進

現状と課題

生活様式の多様化や余暇時間の増大などにより、人生に潤いと豊かさを求める市民が増え、生涯学習への意欲が高まっています。

このため、施設や設備の整備や相談体制の拡充とともに、学んだ成果を地域に還元できる仕組みづくりを進める必要があります。また、講座の充実や学習情報の提供にも努めていく必要があります。



目指すべき方向

- ◆ 生涯学習の推進

施策の体系

施策	目指すべき方向	具体的な施策
生涯学習の推進	◆ 生涯学習の推進	<ol style="list-style-type: none"> ① 推進体制の充実 ② 施設や設備の整備・充実 ③ 相談体制の充実 ④ 学習成果の活用 ⑤ 学習機会の充実 ⑥ 学習情報の提供

施策の内容

◆ 生涯学習の推進

① 推進体制の充実

- ・市民の学習ニーズに対応するため、教育機関との連携強化を図るなど、推進体制の充実に努めます。

② 施設や設備の整備・充実

- ・充実した生涯学習を行えるよう、生涯学習施設の整備とともに、設備や機器などの充実に努めます。

③ 相談体制の充実

- ・学習内容や学習方法など様々な相談に適切な助言や支援ができるよう、相談体制の充実に努めます。

④ 学習成果の活用

- ・学んだ知識が地域に還元されるよう、指導者やボランティアの活動の場や機会の提供に努めます。

⑤ 学習機会の充実

- ・市民の学習ニーズに対応するため、講座の内容や種類の充実に努めます。

⑥ 学習情報の提供

- ・近隣市町や関係機関とのネットワークを形成し、学習情報の収集を図るとともに、市民が必要とする学習情報の提供に努めます。

成果指標



主要事業

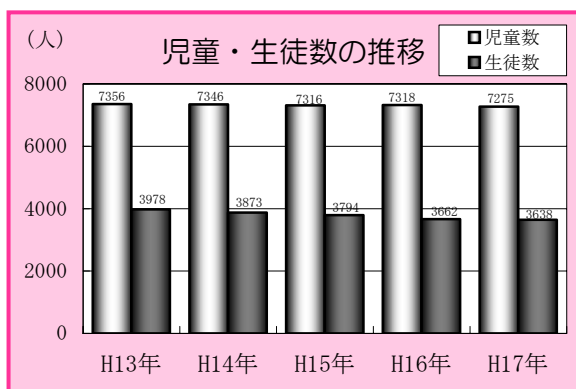
事業名	計画期間 (H19~H23年度)
学社連携融合事業	期間中継続
生涯学習環境の整備	期間中継続
ボランティアネットワークの整備	20~23年度

2 学校教育の充実

現状と課題

少子化や核家族化の進展にともない、学校教育に対するニーズはますます多様化しています。また、地域の絆が弱まるなか、子供たちの人間関係を培う力も弱まっています。一方、老朽化の進んだ施設の改修とともに、学校規模の適正化も課題となっており、加えて、幼児教育についても更なる充実が求められています。

このため、基礎学力や体力、社会力の向上とともに、豊かな心の育成に努める必要があります。また、児童・生徒指導や特別支援教育など、9年間の義務教育の充実を図るため、中学校区ごとの小中連携を推進する必要があります。加えて、施設や設備の整備や学校規模の適正化とともに、幼児教育の支援・充実に努める必要があります。



写 真

目指すべき方向

- ◆ 人づくり教育の推進
- ◆ 学校施設・設備の整備
- ◆ 幼児教育の充実

施策の体系

施策	目指すべき方向	具体的な施策
学校教育の充実	◆ 人づくり教育の推進	① 学力・体力の向上 ② 社会力の育成 ③ 豊かな心の育成 ④ 児童・生徒指導の充実 ⑤ 特別支援教育の推進 ⑥ 中学校区ごとの小中学校連携の推進
	◆ 学校施設・設備の整備	① 学校施設・設備の整備 ② 学校規模の適正化
	◆ 幼児教育の充実	① 幼児教育の支援

施策の内容

◆ 人づくり教育の推進

① 学力・体力の向上

- ・児童・生徒の学力の向上を図るため、基礎学習の反復や副教材の活用とともに、情報活用能力の向上に努めます。
- ・スポーツを通じた体力づくりを継続的に続けるとともに、食に関する指導や健康教育の充実に努めます。

② 社会力の育成

- ・豊かな人間性や社会性を育むため、ボランティア活動や体験学習など通して、地域の人々との交流の促進と奉仕の精神や実践力・忍耐力の育成に努めます。

③ 豊かな心の育成

- ・豊かな感性や心を育成するため、道徳教育や人権教育の充実にともに、外国人との交流を通じた国際理解教育を推進していきます。

④ 児童・生徒指導の充実

- ・いじめや不登校への共通理解と指導を強化するため、スクールカウンセラーなどの相談体制の拡充とともに、関係機関との連携により情報の共有化を進め、適切な指導や問題の解決に努めます。

⑤ 特別支援教育の推進

- ・担任や保護者との連携を図り、障害の程度や種別に応じた適切な個別指導計画の作成とともに、指導の充実に努めていきます。
- ・適正かつきめ細やかな校内就学指導を確立するため、定期的な健康診断による障害状況の的確な把握とともに、特別支援コーディネーターの設置に努めていきます。

⑥ 中学校区ごとの小中学校連携の推進

- ・人格の基礎づくり教育を推進するため、義務教育の9年間を見通した教育は重要であり、小中学校間の教育課程や学校生活に持続性を持たせるため、中学校区ごとに小中学校の連携を進めていきます。

◆ 学校施設・設備の整備

① 学校施設・設備の整備

- ・地震などの災害への安全性の向上や、災害発生時の避難場所を確保するため、校舎や体育館などの耐震診断の実施とともに、耐震補強や改築などを計画的に進めていきます。
- ・授業や指導の効率化を図るため、教材や教具の整備とともに、設備や機器の充実に努めます。

② 学校規模の適正化

- ・学校配置や規模の適正化を図るため、児童・生徒数の将来推計や地域の実情を勘案して、通学区域などの見直しや学校の統廃合を検討していきます。
- ・小規模校や複式校の教育の充実を図るため、他校との相互交流を積極的に促進します。

◆ 幼児教育の充実

① 幼児教育の支援

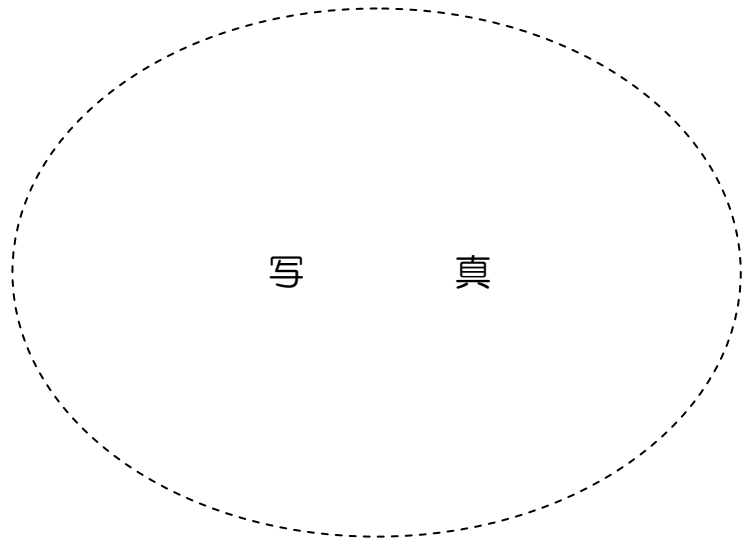
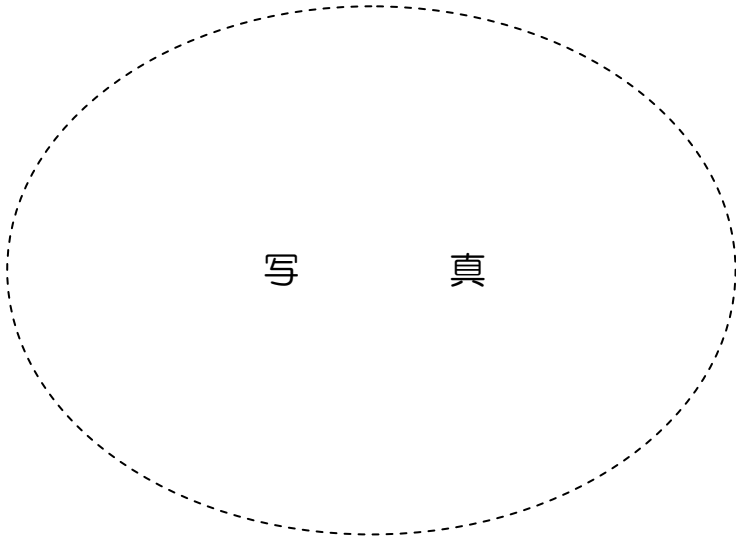
- ・幼児期から学童期への教育の継続を図るため、幼保小の連携を進めていきます。
- ・幼稚園の保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園就園奨励費とわんぱく保育事業への支援に努めます。

成 果 指 標



主 要 事 業

事業名	計画期間 (H19～H23 年度)
学力向上連携事業	19～21 年度
適応指導教室の運営	期間中継続
教育相談員・スクールカウンセラー配置事業	期間中継続
校舎・体育館などの耐震診断・補強工事	期間中継続
学校規模の適正化事業	19～20 年度
中学生海外派遣事業	期間中継続
中学校区ごとの小中学校連携	期間中継続

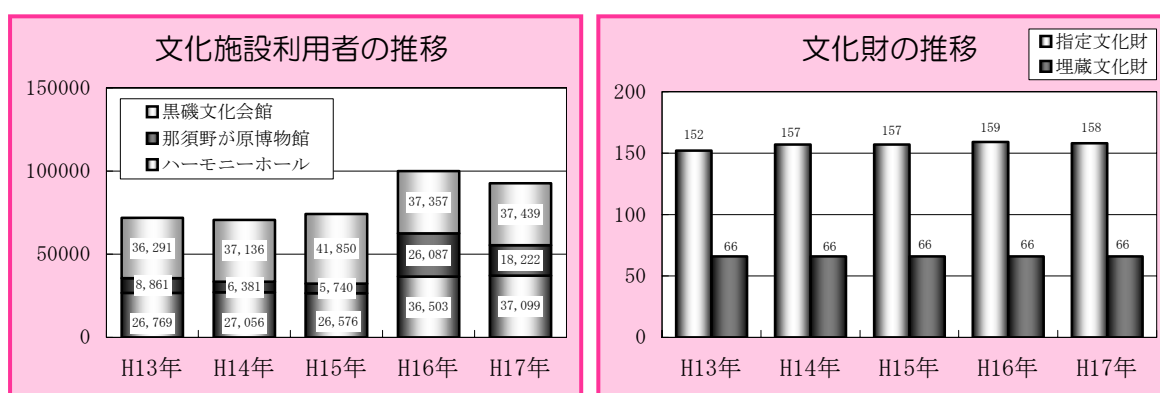


3 芸術・文化活動の振興

現状と課題

価値観の多様化や余暇時間の増大などにもとない、心の豊かさや潤いのある暮らしを求める市民も多くなり、芸術や文化に対する関心も高まっています。

このため、市民の芸術や文化に親しむ機会の拡充とともに、これら芸術・文化活動を担う人材や団体の育成を図っていく必要があります。加えて、貴重な文化財を後世に伝承するため、適正な保存とともに、公開など、その有効活用に努める必要があります。



目指すべき方向

- ◆ 地域に根ざした芸術・文化活動の推進
- ◆ 文化財の保護・活用

施策の体系

施策	目指すべき方向	具体的な施策
芸術・文化活動の振興	◆ 地域に根ざした芸術・文化活動の推進	① 芸術・文化事業の充実 ② 団体の育成・強化 ③ 芸術・文化環境の充実
	◆ 文化財の保護・活用	① 文化財の保存・活用

施策の内容

◆ 地域に根ざした芸術・文化活動の推進

① 芸術・文化事業の充実

- ・質の高い芸術・文化の鑑賞機会を拡充するため、自主事業の充実に努めます。
- ・将来を担う子供たちの想像力や人間性を高めるため、児童・生徒が芸術・文化に親しむ機会の拡充に努めます。

② 団体の育成・強化

- ・芸術・文化の振興を図るため、文化活動を担う人材や団体の育成とともに、団体間における交流機会の拡充に努めていきます。

③ 芸術・文化環境の充実

- ・市民が芸術・文化に親しみながら文化活動に取り組むことができるよう、文化施設や設備の充実に努めていきます。
- ・芸術・文化の練習や発表を身近な場所でできるよう、公民館や文化会館、博物館など既存の施設の有効活用に努めます。

◆ 文化財の保護・活用

① 文化財の保存・活用

- ・貴重な文化財を後世に伝承するため、文化財の調査や研究を進めるとともに、適正な保存に努めます。
- ・市内に残る文化財への理解を図るため、文化財の紹介や公開を進めます。
- ・地域の文化や遺産と親しむことができるよう、博物館や郷土館などの展示内容の充実を図ります。

成果指標



主要事業

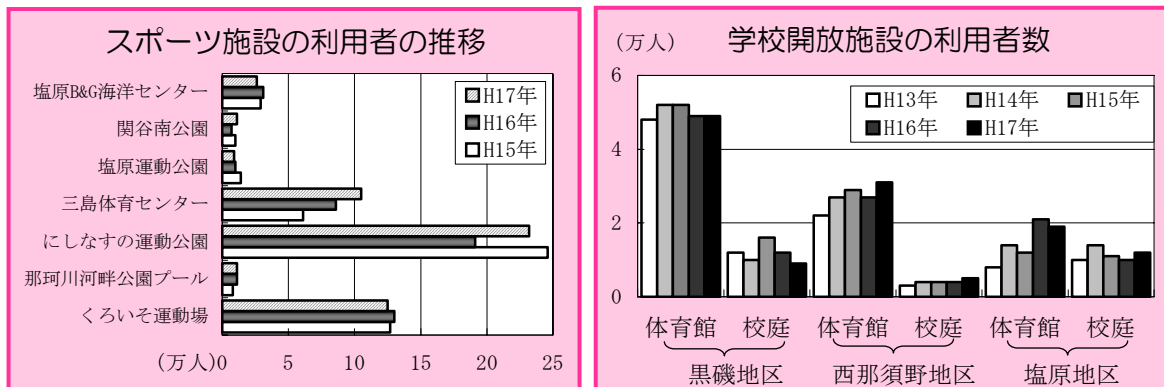
事業名	計画期間 (H19~H23年度)
文化振興事業	期間中継続
埋蔵文化財包蔵地調査事業	20~23年度
古文書のマイクロフィルム撮影	期間中継続

4 生涯スポーツの振興

現状と課題

健康づくりと体力づくりへの関心が高まり、市民のスポーツへの取り組みが活発になっています。

このため、市民主体の活動に対する支援や指導者の育成とともに、施設の充実や市民が気軽にスポーツを楽しめる環境をつくっていく必要があります。



目指すべき方向

- ◆ スポーツを楽しめる環境づくり

施策の体系

施策	目指すべき方向	具体的な施策
生涯スポーツの振興	◆ スポーツを楽しめる環境づくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ団体の育成・支援 2 指導員の育成・強化 3 スポーツ施設の整備 4 学校施設などの有効活用 5 スポーツイベントの開催と誘致

施策の内容

- ◆ スポーツを楽しめる環境づくり
 - ① **スポーツ団体の育成・支援**
 - ・スポーツの振興と競技力の向上を図るため、体育協会への支援やスポーツ少年団の育成とともに、総合型地域スポーツクラブの設立と活動支援に努めます。

② 指導者の育成・強化

- ・スポーツ活動を通して健康な体力づくりを推進するため、指導者の養成とともに、地域スポーツ活動をコーディネートする人材の育成に努めます。

③ スポーツ施設の整備

- ・スポーツ活動の振興を図るため、施設の整備・改修に努めていきます。

④ 学校施設などの有効活用

- ・市民が身近な地域でスポーツを楽しめるよう、学校施設などの開放を促進します。

⑤ スポーツイベントの開催と誘致

- ・体力の増進とスポーツを通じた交流を促進するため、スポーツイベントの開催と誘致を推進していきます。

成果指標



主要事業

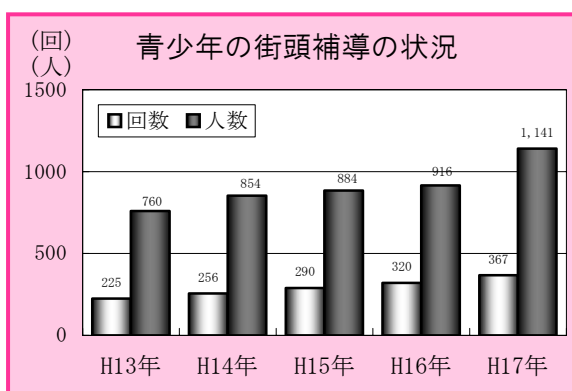
事業名	計画期間 (H19～H23年度)
スポーツ振興基本計画策定	20年度
那珂川河畔公園プール整備事業	20～21年度
総合型地域スポーツクラブの設立・活動支援	期間中継続

5 青少年の健全育成

現状と課題

核家族化や少子高齢化、都市化の進展などにより、地域の連帯感が希薄化するなど青少年を取り巻く環境が急速に変化しています。加えて、非行の凶悪化や低年齢化とともに、薬物の乱用など多くの問題が生じています。

このため、家庭教育の充実とともに、家庭と学校、地域が連携を強化し、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいく必要があります。また、青少年活動の充実や関係団体への支援にも努めていく必要があります。



写 真

目指すべき方向

- ◆ 青少年の健全育成

施策の体系

施策	目指すべき方向	具体的な施策
青少年の健全育成	◆ 青少年の健全育成	<ol style="list-style-type: none"> ① 推進体制の整備 ② 家庭教育の充実 ③ 地域ぐるみの取り組みの推進 ④ 青少年活動の充実 ⑤ 関係団体への支援 ⑥ 健全育成の環境づくり

施策の内容

◆ 青少年の健全育成

① 推進体制の整備

- ・ 青少年プランの策定や市民会議の設立を進め、健全育成推進体制の整備に努めていきます。

② 家庭教育の充実

- ・ 家庭教育の充実を図るため、情報提供とともに相談体制の充実に努めます。

③ 地域ぐるみの取り組みの推進

- ・ 家庭や学校、地域との連携を図り、子どもを守る運動や地域ぐるみのサポート活動を推進していきます。

④ 青少年活動の充実

- ・ 地域や人とのふれあいのなかで青少年の健全な育成が図れるよう、交流機会の拡充とともに、生活体験や自然体験の充実を図ります。

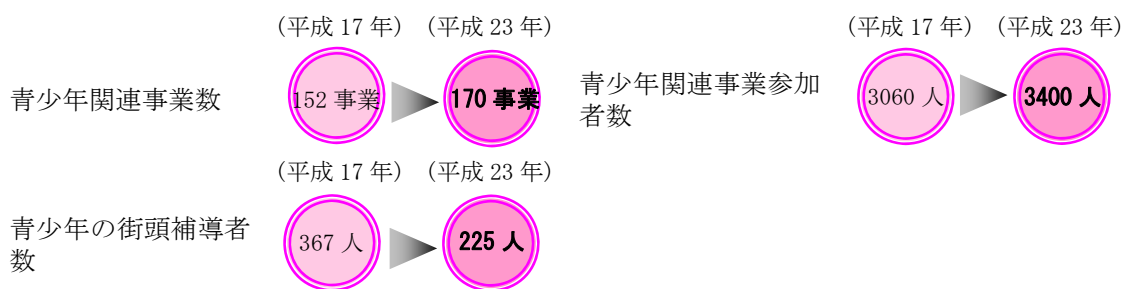
⑤ 関係団体への支援

- ・ 青少年の地域活動を活性化するため、団体のリーダーや指導者の養成とともに、活動への支援に努めます。

⑥ 健全育成の環境づくり

- ・ 犯罪や薬物、インターネットの有害サイトなどから青少年を守るため、正確な知識の普及と啓発活動の推進に努めます。

成果指標



主要事業

事業名	計画期間 (H19~H23 年度)
青少年プランの策定	19~20 年度
青少年健全育成推進体制の整備・充実	21~23 年度